

子どものこころの健康を考えるシンポジウム

トラウマを受けた子どもの心のケア ～傷ついた子どもを支える～

平成24年2月5日(日) 12:45～16:30

2011年3月の東日本大震災と原発事故等のために全国に避難している児童生徒の数は11年9月1日現在13,933名にのぼるといふ。東京でも1158名の児童生徒が避難している(11年10月時点日精診会員調べ)。避難してきた子どもたちは転校等のストレスとともに震災や被爆などの不安という二重のストレスにさらされている。子どもたちに直接関わる学校関係者・スクールカウンセラー・精神科診療所の医師たちがどのような視点で子どもに関わり、支えればよいかを考える。

日時 平成24年2月5日(日) 12:45～16:30

場所 AP品川 JKLM会議室
東京都港区高輪3-25-23 京急第2ビル9F

参加費 1000円
(当日受付にてお支払いください。)
定員 200名

プログラム

12:45～

開会の辞 : 大高一則(日精診児童青少年問題関連委員会 委員長)
主催者挨拶 : 三野 進(社団法人 日本精神神経科診療所協会 会長)

13:00～14:45 シンポジウム

シンポジウム座長 日精診児童青少年問題関連委員会 紫藤昌彦・大高一則
シンポジスト

◆災害時における子どもの心のケア

日本児童青年期精神医学会災害対策委員 駒木野病院 児童精神科診療部長 笠原 麻里先生

◆被災地の子どもたちの心のケア

仙台市教育局学校教育部 / 教育相談課教育相談班 / 指導主事 越路 明美先生

◆避難先の学校現場での子どもの支援

東京都江東区立東雲小学校 養護教諭 宮崎 智子先生

15:00～16:00 ディスカッション

指定討論者 兵庫精神神経科診療所協会 小林 和先生(児童精神科医)

～16:30

閉会の辞 : 上ノ山一寛(日精診児童青少年問題関連委員会 副委員長)

主催 : 社団法人日本精神神経科診療所協会 児童青少年問題関連委員会

後援 : 社団法人東京都医師会

お申し込み方法 下記の情報を FAX にてお送りください。FAX 番号 : 03-3320-9120
後日、参加証をお送りします。

お問合せ 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-38-2 ミヤタビル 8F
社団法人日本精神神経科診療所協会事務局 / TEL : 03-3320-1423

●氏名

●ふりがな

●住所

●電話番号

●FAX 番号

●所属先

●職種

●参加者希望人数(合計 名)

個人情報の取扱い

当講演会に関する個人情報は、1.氏名、2.住所、3.電話・FAX 番号です。これらの個人情報は、1.講演会の実施運営に関する管理・連絡および手続に利用いたします。また、業務の遂行以外においては個人情報を第三者に提供いたしません。ただし、法律上開示すべき義務を負う場合や、受講者本人の生命、身体、財産その他の権利利益保護のために必要であると判断できる場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に第三者に個人情報を提供する場合があります。